

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
応用栄養学演習		1 単位 30 時間(16 コマ) 演習科目	博士前期 1 年次 後期開講	☐ ・不可
科目責任者	大野 智子			
担 当 者	大野 智子、鹿内 彩子、清水 亮、伊藤 恵美子			
1. 科目のねらい・目標				
【ねらい】 応用栄養学特論での学びをもとに、国内外の保健・医療・介護分野における栄養問題を解決するために必要な栄養評価データ、栄養介入計画などを提示することで、実践栄養学的研究を実施するための基礎力を身に付ける。 【目 標】 人々の栄養問題の解決に資する科学的根拠を構築するための調査方法の活用が提案できる。				
2. 授業計画・内容				
第 1・2 回 思春期の健康と栄養に関する課題への取り組みについて演習する (担当：大野) 第 3・4 回 要介護高齢者の栄養ケアプロセスを演習する (担当：伊藤) 第 5・6 回 学童期の栄養と食生活に関する課題への取り組みについて演習する (担当：鹿内) 第 7・8 回 疾患と栄養に関する課題への取り組みについて演習する (担当：清水)				
3. 教科書、参考書				
各授業において参考資料を配布する。				
4. 成績評価方法				
授業への参加度 20%、演習中の積極性 10%、レポート 70%により評価する。				
5. 受講要件				
なし。				
6. 社会人学生に対する配慮				
仕事の都合で対面での出席が難しい場合は事前申し出により、オンラインに対応する。 なお、第 1～2 回、7～8 回は完全オンラインである。				
7. その他				
オンデマンド不可				